

中小企業景況調査報告書

平成23年度第2・四半期（7～9月）

山内一豊



（財）土佐山内家宝物資料館所蔵
Kazutoyo Yamanochi

生 年 1545年(天文14)
没 年 1605年(慶長10)
享 年 61歳
出身地 尾張国黒田
幼 名 辰之助

郷土が生んだ戦国武将
「山内一豊」出生の地

黒田城跡



Site of Karoda Castle

一宮市観光協会提供

目 次

調査の要領	1
今期の概況	2
景況に対するコメント	3
景況の推移（全業種）前年同期比	4
景況の推移（繊維製造業）前年同期比	4
業種別集計表・新規設備投資集計表（全業種 100社）	5
業種別集計表・新規設備投資集計表（繊維製造業 49社）	6
景況の推移（全業種）業種別集計表 前期比	7
景況の推移（繊維製造業）業種別集計表 前期比	8
「直面している経営上の問題点」の集計表（全業種上位3位）	9
「直面している経営上の問題点」の集計表（各業種）	10～12
前年同期比のグラフ（全業種・各項目）	13～16

The Ichinomiya Chamber of Commerce & Industry

一宮商工会議所 中小企業相談所

調 査 の 要 領

- I. 調査対象期間 調査対象期間は、「4～6月」「7～9月」「10～12月」「1～3月」の四半期毎とする。
- II. 調査実施時期 調査実施時期は、「4～6月」「7～9月」「1～3月」については目安として各四半期二月目の25日から末月の1日とし、末月の1日時点で調査する。また、「10～12月」については、目安として11月10日から15日とし、15日時点で調査する。
- III. 調査の実施
(方法) 調査は、日本商工会議所の調査様式を用いて調査実施時期に、原則として経営指導員が企業を訪問し、面接・聴き取りにより行う。
- IV. 調査対象企業数 100事業所。

- V. 調査対象企業 次の表のとおり
の業種

(1) 景況調査対象事業所 (100) の内訳

業 種	事業所数
建設業	7
製造業	61
(繊維製造業)	(49)
(その他製造業)	(12)
卸売業	12
小売業	11
サービス業	9
合 計	100

(2) 繊維製造業対象事業所 (49) の内訳

業 種	事業所数
撚糸業	8
織物製造業	26
染色整理加工業	7
縫製加工業	3
そ の 他	5
合 計	49

- VI. 分析 方法
1. DI (Diffusion Index) 分析
「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値
 2. DI分析は、「前年同期」及び「前期」との比較である。

- VII. 分析 項目
1. 前年同期比
(1)業況 (2)売上 (3)採算 (4)資金繰り (5)従業員
 2. 前 期 比
(1)業況 (2)売上 (3)資金繰り

- VIII. その他の分析
1. 設備投資 実施状況数
 2. 経営上の問題点 各項目をポイント加算

}	1位3ポイント
	2位2ポイント
	3位1ポイント

今 期 の 概 況

東日本大震災の影響で依然として 厳しい状況だが、持ち直している

1. 前年同期比 D I 値の分析

※今期は、東日本大震災の影響で混乱した生産活動が正常化しつつあることや個人消費の持ち直しなどから景況は改善している。来期も、引き続き改善の見通しである。

- ① 今期(表 1、3 参照)は、業況▲27.0、売上▲28.0、採算▲36.0、資金繰り▲27.0、従業員▲9.0 で、前回調査値 (H23.4~6 月期) と比較すると、資金繰り▲10.0 ポイント (以下 P と記載)、従業員▲4.0 P はマイナス幅が拡大したものの、業況 11.0 P、売上 1.0P、採算 7.0P とマイナス幅は縮小している。(図 1 参照)
- ② 来期の見通し(表 1、3 参照)は、業況▲24.0 (今期数値との比較 3.0 P)、売上▲17.0 (同 11.0P)、採算▲29.0 (同 7.0P)、資金繰り▲18.0 (同 9.0P)、従業員▲3.0 (同 6.0P) で、全ての項目でマイナス幅は縮小している。
- ③ 繊維製造業の今期(49 事業所、表 2、5 参照)については、前回調査値 (H23.4~6 月期) と比較すると、業況 10.2P、売上 4.1P、採算 8.2P、資金繰り▲16.3 P、従業員 2.0P と資金繰り以外はマイナス幅が縮小している。
- ④ 繊維製造業の来期の見通しは、今期数値との比較で、業況▲2.1P、売上横ばい、採算 6.1P 資金繰り 10.2P、従業員横ばいとなっている。

2. 前期比 D I 値の分析

- ① 今期(表 7、8 参照)は、業況▲15.0、売上▲11.0、資金繰り▲19.0 で、前回調査値との比較では、業況 11.0P、売上 1.0P、資金繰り▲2.0P と、業況、売上でマイナス幅は縮小している。
- ② 繊維製造業(49 事業所、表 9、10 参照)については、前回調査値との比較で、業況 12.2 P、売上▲18.4P、資金繰り▲10.2P と、業況でマイナス幅は縮小している。

3. 設備投資の動向

- ① 今期の実績(表 4、6 参照)は 32 件(19 事業所)。その主な内訳は、『OA機器』11 件、『生産設備』9 件、『工場建物』3 件、『付帯施設』3 件となっている。
- ② 来期の計画(表 4、6 参照)は 32 件(21 事業所)。その主な内訳(予定)は、『生産設備』11 件、『車両・運搬具』7 件、『付帯施設』5 件、『OA機器』4 件となっている。

以上のことから、今期の設備投資は、製造業を中心に前期(17 件、15 事業所)に比べ件数・事業所とも増加している。また、来期計画も、今期並みの水準にあることから、減退していた設備投資意欲が僅かながら改善傾向にあることが伺える。

4. 直面している経営上の問題点(表 1 1 参照)

- ① 建設業では、1 位が『請負単価の低下・上昇難』、2 位は『民間需要の停滞』。
- ② 繊維製造業では、1 位が『需要の停滞』、2 位は『原材料価格の上昇』。
- ③ 製造業(繊維製造業は除く)では、1 位が『製品(加工)単価の低下・上昇難』、2 位は『需要の停滞』。
- ④ 卸売業では、1 位が『需要の停滞』、2 位は『販売単価の低下・上昇難』。
- ⑤ 小売業では、1 位が『大型店・中型店の進出による競争の激化』、2 位は『需要の停滞』。
- ⑥ サービス業では、1 位が『利用料金の低下・上昇難』、2 位は『材料等仕入単価の上昇』。

以上のように、経営上の問題点の上位には、『需要の停滞』、『製品等単価の低下・上昇難』、『原材料等価格の上昇』を挙げる業種が多い。

業 況 レ ポ ー ト

今期については次のようなコメントをいただきました。

A 社（建設業〈屋根工事〉）

住宅エコポイント（平成23年7月31日終了）のかけ込みで、契約した工事物件は順調で、10月頃までは仕事を確保している。東日本大震災関連では、資材の入手難・高騰で予定どおり工事が進行しない、職人不足という影響がでた。

B 社（製造業〈染色〉）

同業者が少ないこと、東日本大震災の特需もあり、比較的受注は好調である。今年の10月頃までは、今の状況が続くものと思われる。

C 社（製造業〈擦糸〉）

業界全体では、少し物流の流れは悪いように思うが、当社は、差別化商品が多いため、例年に近い状態で推移している。来期についても、円高が進まなければ、良い方向に進むものと思われる。

D 社（製造業〈織物〉）

中国は、少ロット、短納期対応の生産管理が不得意である。そのため、少ロット、短納期対応の製品が尾州地域に流れてきており、売上は増加傾向にある。

E 社（製造業〈自動車部品加工〉）

東日本大震災後の生産は、1~2ヶ月前倒しで早く正常化した。しかし、海外向け部品も多く、この円高では、早晚、国内産業の空洞化等の大きな壁が立ちだかってくる気がする。

F 社（製造業〈機械部品加工〉）

前年同期に比べ受注は増加しており、景況は上昇感がある。しかし、工賃単価は上昇する気配なく、利益に結びつかない状況である。

G 社（小売業〈自動車〉）

人口減少、高齢化、デフレによる販売単価下落で自動車の販売業界は非常に厳しいが、自助努力により、最小限の落ち込みに留めている。

H 社（サービス業〈貸おしぼり〉）

飲食店の業績不振から、業況はあまり芳しくなく、来期も同様傾向が続くものとみられる。材料を中国から輸入しており、円高のメリットはある。

景況の推移（全業種100事業所）

表 1

～ 前年同期比～

	H22. 7～9月	H22. 10～12月	H23. 1～3月	H23. 4～6月	今 期 H23. 7～9月	来期の見通し H23. 10～12月
業 況	▲27.0	▲24.0	▲21.0	▲38.0	▲27.0	▲24.0
売 上	▲20.0	▲21.0	▲15.0	▲29.0	▲28.0	▲17.0
採 算	▲21.0	▲30.0	▲30.0	▲43.0	▲36.0	▲29.0
資金繰り	▲16.0	▲21.0	▲21.0	▲17.0	▲27.0	▲18.0
従 業 員	▲11.0	▲11.0	▲11.0	▲5.0	▲9.0	▲3.0

景況の推移（繊維製造業49事業所）

表 2

～ 前年同期比～

	H22. 7～9月	H22. 10～12月	H23. 1～3月	H23. 4～6月	今 期 H23. 7～9月	来期の見通し H23. 10～12月
業 況	▲28.6	▲26.5	▲24.5	▲36.7	▲26.5	▲28.6
売 上	▲12.2	▲22.4	▲4.1	▲18.4	▲14.3	▲14.3
採 算	▲24.5	▲28.6	▲34.7	▲42.9	▲34.7	▲28.6
資金繰り	▲22.4	▲24.5	▲22.4	▲18.4	▲34.7	▲24.5
従 業 員	▲14.3	▲12.2	▲16.3	▲12.2	▲10.2	▲10.2

業種別集計表 (全業種100事業所)

～ 前年同期比 ～

表 3

	事業所数	7	61	12	11	9	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業況	好転	0 (1)	10 (9)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	▲ 27.0 (▲24.0)
	不変	4 (3)	27 (31)	7 (7)	6 (6)	5 (5)	49 (52)	
	悪化	3 (3)	24 (21)	3 (3)	5 (5)	4 (4)	39 (36)	
売上	増加	1 (0)	17 (16)	3 (3)	0 (2)	1 (1)	22 (22)	▲ 28.0 (▲17.0)
	不変	2 (3)	18 (24)	2 (4)	5 (5)	1 (3)	28 (39)	
	減少	4 (4)	26 (21)	7 (5)	6 (4)	7 (5)	50 (39)	
採算	好転	0 (0)	8 (7)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	10 (8)	▲ 36.0 (▲29.0)
	不変	3 (3)	25 (33)	6 (7)	6 (6)	4 (6)	44 (55)	
	悪化	4 (4)	28 (21)	4 (4)	5 (5)	5 (3)	46 (37)	
資金繰り	好転	0 (1)	2 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (4)	▲ 27.0 (▲18.0)
	不変	5 (5)	41 (44)	9 (9)	9 (9)	5 (7)	69 (74)	
	悪化	2 (1)	18 (14)	3 (3)	2 (2)	4 (2)	29 (22)	
従業員	増加	1 (1)	7 (7)	0 (0)	0 (1)	1 (2)	9 (11)	▲ 9.0 (▲3.0)
	不変	4 (5)	43 (45)	11 (11)	11 (9)	4 (5)	73 (75)	
	減少	2 (1)	11 (9)	1 (1)	0 (1)	4 (2)	18 (14)	

※ 採算は経常利益で判断

※ ()内は来期

新規設備投資集計表 (全業種100事業所)

表 4

設備投資	今期	実施した ※1	19	来期	計画している ※2	21
	(事業所数)	実施していない	81	(事業所数)	計画していない	79

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	2 件	1 件	5. 付帯施設	3 件	5 件
2. 工場建物	3 件	3 件	6. O A 機器	11 件	4 件
3. 生産設備	9 件	11 件	7. 福利厚生施設	0 件	0 件
4. 車両・運搬具	2 件	7 件	8. その他	2 件	1 件
複数回答可			合計	32 件	32 件

業種別集計表 (繊維製造業49事業所)

～ 前年同期比 ～

表 5

	事業所数	8	26	7	3	5	49	D I
		燃糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業況	好転	2 (1)	4 (3)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	8 (6)	▲ 26.5 (▲28.6)
	不変	5 (6)	9 (10)	3 (4)	1 (1)	2 (2)	20 (23)	
	悪化	1 (1)	13 (13)	3 (2)	2 (2)	2 (2)	21 (20)	
売上	増加	3 (2)	8 (8)	2 (1)	0 (0)	2 (2)	15 (13)	▲ 14.3 (▲14.3)
	不変	3 (5)	7 (6)	1 (3)	1 (1)	0 (1)	12 (16)	
	減少	2 (1)	11 (12)	4 (3)	2 (2)	3 (2)	22 (20)	
採算	好転	1 (0)	3 (4)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	6 (5)	▲ 34.7 (▲28.6)
	不変	5 (7)	9 (9)	4 (4)	0 (1)	2 (4)	20 (25)	
	悪化	2 (1)	14 (13)	3 (3)	3 (2)	1 (0)	23 (19)	
資金繰り	好転	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	▲ 34.7 (▲24.5)
	不変	6 (7)	16 (18)	4 (4)	2 (2)	4 (4)	32 (35)	
	悪化	2 (1)	10 (7)	3 (3)	1 (1)	1 (1)	17 (13)	
従業員	増加	1 (1)	3 (2)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	5 (4)	▲ 10.2 (▲10.2)
	不変	7 (7)	18 (20)	4 (4)	1 (1)	4 (4)	34 (36)	
	減少	0 (0)	5 (4)	2 (2)	2 (2)	1 (1)	10 (9)	

※ 採算は経常利益で判断

※ ()内は来期

新規設備投資集計表 (繊維製造業49事業所)

表 6

設備投資	今期	実施した ※1	10	来期	計画している ※2	10
	(事業所数)	実施していない	39	(事業所数)	計画していない	39

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	1 件	0 件	5. 付帯施設	2 件	1 件
2. 工場建物	1 件	1 件	6. O A 機器	6 件	1 件
3. 生産設備	5 件	6 件	7. 福利厚生施設	0 件	0 件
4. 車両・運搬具	1 件	2 件	8. その他	0 件	0 件
複数回答可			合計	16 件	11 件

景況の推移 (全業種100事業所)

表 7

～ 前期比 ～

	H22. 7～9月	H22.10～12月	H23.1～3月	H23.4～6月	今 期 H23.7～9月
業 況	▲27.0	▲21.0	▲24.0	▲26.0	▲15.0
売 上	▲23.0	▲18.0	▲33.0	▲12.0	▲11.0
資金繰り	▲13.0	▲20.0	▲21.0	▲17.0	▲19.0

業種別集計表 (全業種100事業所)

表 8

～ 前期比 ～

	事業所数	7	61	12	11	9	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業 況	好 転	0	9	2	1	0	12	▲ 15.0
	不 変	4	36	7	8	6	61	
	悪 化	3	16	3	2	3	27	
売 上	増 加	2	16	5	3	2	28	▲ 11.0
	不 変	3	20	0	7	3	33	
	減 少	2	25	7	1	4	39	
資 金 繰 り	好 転	0	2	0	0	1	3	▲ 19.0
	不 変	5	45	10	10	5	75	
	悪 化	2	14	2	1	3	22	

景況の推移 (繊維製造業49事業所)

表 9

～ 前 期 比 ～

	H22. 7～9月	H22. 10～12月	H23. 1～3月	H23. 4～6月	今 期 H23. 7～9月
業 況	▲28.6	▲26.5	▲26.5	▲26.5	▲14.3
売 上	▲20.4	▲24.5	▲38.8	4.1	▲14.3
資金繰り	▲16.3	▲22.4	▲26.5	▲14.3	▲24.5

業種別集計表 (繊維製造業49事業所)

表 10

～ 前 期 比 ～

	事業所数	8	26	7	3	5	49	D I
		擦糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業 況	好 転	1	4	1	0	1	7	▲ 14.3
	不 変	5	15	4	2	2	28	
	悪 化	2	7	2	1	2	14	
売 上	増 加	2	10	2	0	1	15	▲ 14.3
	不 変	2	6	2	1	1	12	
	減 少	4	10	3	2	3	22	
資 金 繰 り	好 転	0	0	0	0	0	0	▲ 24.5
	不 変	6	20	5	2	4	37	
	悪 化	2	6	2	1	1	12	

『直面している経営上の問題点』の集計表 表 11

(全業種上位3位)

業 種 順位	内 容		
	1 位	2 位	3 位
建設業	○請負単価の低下・ 上昇難	○民間需要の停滞	○官公需要の停滞
繊維製造業	○需要の停滞	○原材料価格の上昇	○製品(加工)単価の 低下・上昇難
製造業 (繊維製造業は除く)	○製品(加工)単価の 低下・上昇難	○需要の停滞	○製品ニーズの変化 への対応
卸売業	○需要の停滞	○販売単価の低下・ 上昇難	○仕入単価の上昇
小売業	○大型店・中型店の 進出による競争の 激化	○需要の停滞	○購買力の他地域 への流出 ○消費者ニーズの 変化への流出
サービス業	○利用料金の低下・ 上昇難	○材料等仕入単価 の上昇	○需要の停滞

『直面している経営上の問題点』の集計表

建設業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
材料価格の上昇	0
材料の入手難	0
人件費の増加	0
材料費・人件費以外の経費の増加	0
請負単価の低下・上昇難	13
下請単価の上昇	0
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	3
従業員の確保難	1
熟練技術者の確保難	0
下請業者の確保難	2
官公需要の停滞	11
民間需要の停滞	12
その他	0
合 計	42

繊維製造業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
製品ニーズの変化への対応	31
生産設備の不足・老朽化	13
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	48
原材料の不足	9
人件費の増加	7
原材料費・人件費以外の経費の増加	11
製品(加工)単価の低下・上昇難	47
金利負担の増加	1
取引条件の悪化	6
事業資金の借入難	3
従業員の確保難	1
熟練技術者の確保難	9
需要の停滞	68
その他 <div style="display: flex; align-items: center; margin-left: 20px;"> { <ul style="list-style-type: none"> ・円高 ・原発 ・地震 } </div>	9
合 計	263

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

製 造 業 (繊維製造業は除く)

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
製品ニーズの変化への対応	11
生産設備の不足・老朽化	3
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	9
原材料の不足	0
人件費の増加	0
原材料費・人件費以外の経費の増加	0
製品(加工)単価の低下・上昇難	19
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	2
事業資金の借入難	1
従業員の確保難	0
熟練技術者の確保難	2
需要の停滞	14
その他	0
合 計	61

卸 売 業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	1
メーカーの進出による競争の激化	3
小売業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	2
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	5
商品在庫の過剰	3
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	0
販売単価の低下・上昇難	11
仕入単価の上昇	10
金利負担の増加	1
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	0
需要の停滞	26
その他	0
合 計	62

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

小売業

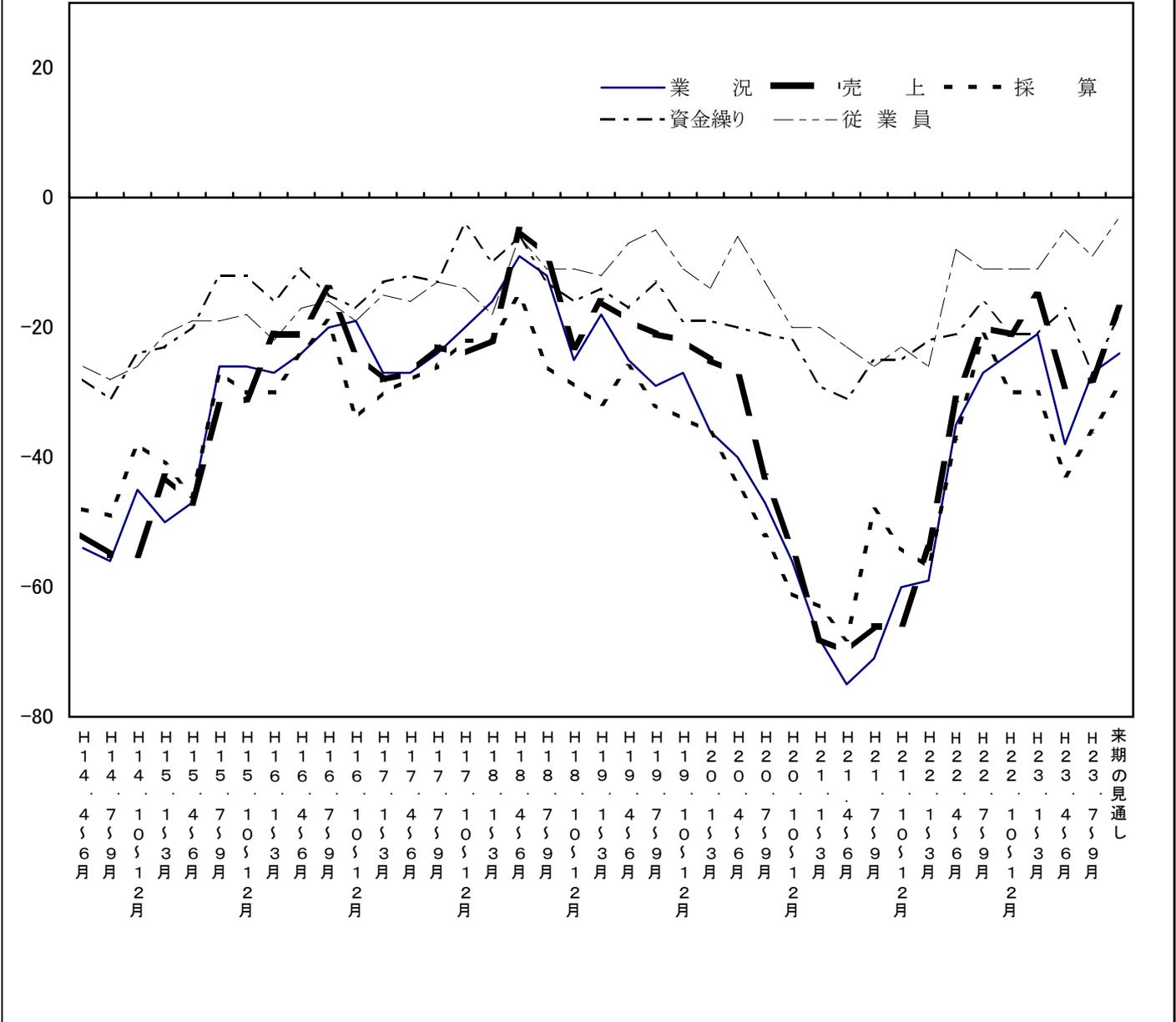
内 容	ポイント
大型店・中型店の進出による競争の激化	12
同業者の進出	0
購買力の他地域への流出	9
消費者ニーズの変化への対応	9
店舗の狭隘・老朽化	3
駐車場の確保難	0
商品在庫の過剰	0
人件費の増加	1
人件費以外の経費の増加	1
販売単価の低下・上昇難	8
仕入単価の上昇	1
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	2
従業員の確保難	3
需要の停滞	10
その他	0
合 計	59

サービス業

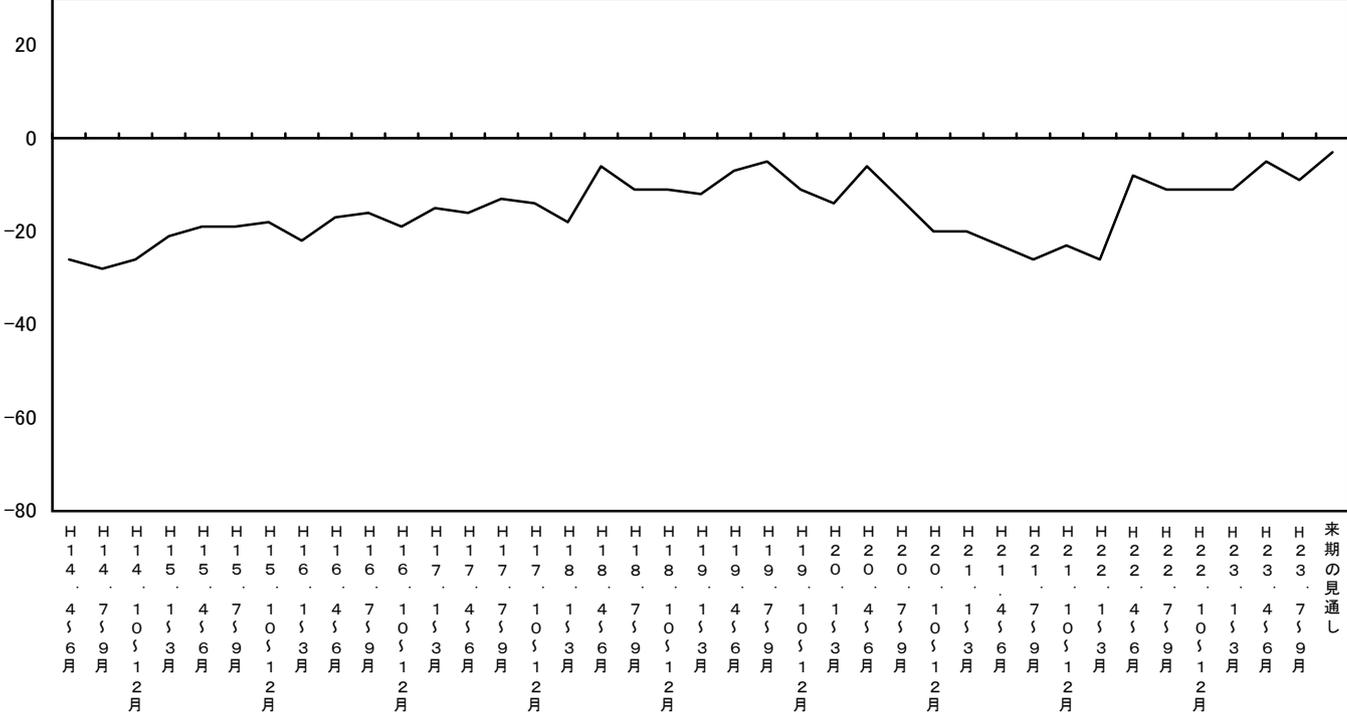
内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
利用者ニーズの変化への対応	4
店舗施設の狭隘・老朽化	1
人件費の増加	2
人件費以外の経費の増加	3
利用料金の低下・上昇難	14
材料等仕入単価の上昇	9
金利負担の増加	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	0
熟練技術者の確保難	0
需要の停滞	8
その他	0
合 計	41

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

景況 DI (全業種) - 前年同期比 -



従業員 DI ー前年同期比ー





一 宮 商 工 会 議 所
中 小 企 業 相 談 所

一宮市栄四丁目2番1号 (〒491-8686)

T E L (0586) 72-4611

F A X (0586) 72-4411

U R L <http://www.ichinomiya-cci.or.jp>

E-mail soudan@ichinomiya-cci.or.jp